平成30年度学校だより
善誘館 NO．１０
Ｈ３１．２．２６
甲府市立善誘館小学校　校長室

校　訓　「善行・勤勉・体育」
学校教育目標
○　思いやる心をもつ子
○　よく考え工夫する子
○　元気でたくましい子

今年度最後の授業参観と学年総会　「すべては子どものために」

梅が各地で満開を迎え，春の足音を少しずつ感じる時季となりました。今年度も残すところ１ヶ月程となる中，全ての学年において今年度最後の授業参観と学年総会を実施したところ，御多用にも関わらず多数の保護者の皆様に御参加いただきました。

自分たちの成長の発表・親子でのふれ合い・感謝の気持ちを表す催しなど，どの学年の子供たちも１年間の成長を感じさせる内容の授業でした。参観ありがとうございました。

【１年生：できるようになったこと】
実演を通して上達を発表

【２年生：大きくなったよ】
成長を用紙にまとめて発表

【３年生：理科，重さ比べ】
同じ体積でも重さが違う

【４年生：きずないっぱい会】
クイズや劇で思い出を回顧

【５年：終わりの会】
５年の思い出と６年への決意

【６年生：感謝の会】
ミニゲームとプレゼント

児童会総会と新役員への引継ぎ

２月１５日（金）の３，４校時に３年生以上が参加して児童総会が行われました。今年度の児童会は「キラキラ」をテーマとし，「かがやく笑顔」「かがやく友情」「かがやく協力」を主な活動として取り組んできました。全校が協力し合い，絆を深める中で，良い学校にしようと児童会役員や６年生を中心に一生懸命がんばりました。たてわり活動やあいさつ運動，ボランティア活動，愛校・愛町作業，花いっぱい運動など，多方面で下級生の良き手本となるようなすばらしい活動ができたと思います。総会では，各クラスで事前に話し合ったことを多くの子供たちが勇気を持って発表していました。総会の最後には，５年生を中心とした新児童会への引き継ぎが行われました。これまで児童会活動をリードしてくれた児童会役員や６年生に感謝するとともに，良き伝統がバトンタッチされることを願っています。

「小１プロブレム」「中１ギャップ」対策

【東中生による本校訪問】

「小１プロブレム」「中１ギャップ」と言われる現象を御存知でしょうか。幼稚園・保育園から小学校への入学，小学校から中学校への入学により，それまでの学習形態等が大きく変化することにより発生する様々な不適応の現象を指しております。

「小１プロブレム」としては，幼稚園や保育園は「遊び」や「体験」が重視されるのに対し，小学校は教員による「座学」での教科学習が中心になり，精神的な幼さ等から集団行動がとれず，教師の話を聞けない，一定時間を静かに過ごすことができない状態に陥るなどの行動が見られます。

「中１ギャップ」としては，不登校やいじめが増加する傾向があります。背景には，小学校と中学校での教え方（中学校では教科担任制）や授業の速度の違いによるつまずき，人間関係の変化，心身の発達(思春期)，校則や生活指導の厳格化，部活動の本格化など幾多の原因が作用し合って起こると考えられます。

この「小１プロブレム」「中１ギャプ」を和らげるために，本校職員と園や中学校の先生方が入学する個々の幼児や児童についての情報交換を行い，その特性に応じた指導に努めたり，お互いの授業参観や学習内容の確認をしております。

また，先日は東中学生が本校を訪問して直接６年生に中学校生活の様子を話してくれたり，本校の新入学児童保護者説明会の折に園児と１年生の交流会を持つなど，子ども同志の交流も図っております。

百人一首大会～伝統文化に親しむ～

※春過ぎて　夏来にけらし
白妙の　衣ほすてふ
天の香具山(持統天皇)

善誘館小学校の伝統の一つである「百人一首大会」が２月１３日（水）に行われました。取り札を５色（青・ピンク・黄・緑・オレンジ）に分け，今年は黄色の２０首に取り組みました。

子供たちは，２学期から朝の学習の時間等に取り組むだけでなく，家でも頑張って練習をしてきました。当日は，トーナメント戦で行い，１回に７首ずつ読み，たくさん取ったほうが勝ち進んでいきました。１回戦，２回戦と進むにつれて，勝利して喜ぶ声，負けて悔しがる声，友だちを応援する声等で体育の中は，子供たちの熱気で一杯でした。回が進むにつれて応援の子供も多くなり，読み手が上の句を読み始めるとすぐに札を取る子供が多く見られました。取り組みが初めての１年生から小学校生活最後の６年生まで札を見つめる目が真剣でした。

なでしこ賞

甲府市教育委員会が取り組む指導重点の一つに「思い遣る心の育成」があります。毎年，甲府市の小中学校及び甲府商業高校から「思い遣る心」の行いのあった児童・生徒が甲府市より「なでしこ賞」として表彰されます。

本校からは，６年生の浅野ひかりさんが選ばれました。誰にでも公平に接し，飼育栽培委員会の委員長としても地道に活動していることが評価されました。当日は樋口雄一市長さんから表彰状をいただきました。おめでとうございます。